

## 出前授業の感想

12月8日(木)

講師 熊本大学 杉本 学 准教授

### 感想

- ・コンピュータを使って色々な物質の成分や構造を Pub Chem や ChEMBL などを使うと、情報を瞬時に知ることができるのですごいと思いました。
- ・授業を受ける前は、化学とコンピュータなどの情報技術はあまり関係ないと思っていました。けれど、医薬品の開発など、私たちの生活には欠かせない物だと知りました。
- ・プログラミングのすごさと難しさを感じました。
- ・操作についていけず難しかったですが、大学生の方々が分かりやすく教えていただきとても嬉しかったです。
- ・実際に来校いただき、話を聞くことができ、とても分かりやすかったです。さらに体験しながらできたので嬉しかったです。難しい計算などがあったけど、理解できたらとても面白いらうなと思いました。
- ・このような技術を使いこなすには、英語力や知識が必要になるので、もっと勉強に力を入れようと思いました。
- ・私たちの知らないところで技術を身につけ、医療発展のために取り組んでいる方々がいるのだと思うと感謝しなければならないと思いました。
- ・私も社会に貢献できる人材になりたい。
- ・コンピュータを使い、人間に適応する薬の構造を見つけたり、開発したりとても便利だと思いました。英語ばかりだったのでとても難しいと思いました。
- ・SMILE で分子の形を一系列の文字と数字で表すことは、今回の授業を受けるまで知りませんでした。
- ・コンピュータを使うことで、作業効率がかなり上がることを体験し、やはりコンピュータは必要不可欠だと思いました。
- ・今まで英語と化学はあまり関係ないと思っていましたが、英語が大切であることを知り、更に勉強していこうと思いました。
- ・物質の開発には、長い時間と膨大な費用がかかることがわかりました。それを改善するためにもコンピュータは必要不可欠であると思います。
- ・物質開発がなぜ大切で必要なのか今まで考えたことがなかったので、とても良い機会になりました。人々は今より更に便利な物を求める産業革命がこれからの未来への可能性を感じワクワクしました。
- ・今後の産業革命にコンピュータは大きな可能性を生み出してくれ、長い期間や膨大な費用が抑えられる素晴らしい技術だということを学ぶことができました。